

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	特別の教科 道徳
----	----------

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東 書	2	道徳 002-72 002-82 002-92	新編 新しい道徳 1	・生徒がよく知っている身近な人物やジェンダーに関することが取り上げられている。 ・小学校の教材を中学校でも取り扱うことで、小中連携や自分の成長を感じられるように工夫されている。 ・「いじめのない世界へ」「いのちを考える」のテーマに関しては、多面的に考えられるようにユニット学習として取り上げられている。 ・役割演技など体験活動に結びつけた教材がやや少ない。 ・写真やイラストを見て自ら問題を見つけ、その問題についてグループや学級で話し合う活動が全学年に設定されており、多面的・多角的な考えを共有できる工夫が見られる。 ・ポスターや写真・挿絵などのビジュアルから考える教材や漫画を活用した教材、グラフから考える教材など、多様な教材が掲載されており、生徒の学習意欲を喚起することができるようになっている。 ・映像を紙面化した教材（NHK for School）があり、動画で授業を行うこともできるようになっている。 ・全教材に「つぶやき」があり、考えたことを書き込み、話し合いや振り返りに活用できるようになっている。 ・デジタルコンテンツでは、各教材の朗読音声、ワークシートがある。 ・教材に関連する Web サイトや資料などを見ることができる。
			新編 新しい道徳 2	
			新編 新しい道徳 3	

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
教 出	1 7	道徳 017-72 017-82 017-92	中学道徳 1 とびだそう未来へ 中学道徳 2 とびだそう未来へ 中学道徳 3 とびだそう未来へ	・導入の問いが生徒の日常と教材をつなぎ、「学びの道しるべ」では、生徒が自分の考えを持ち、深めたり、話し合ったりできる発問が記されている。 ・学習前と学習後の考えや心の変容を生徒が実感することができる。 ・段階的に考えを深める構成となっており、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。 ・生命倫理や思いやり、いじめを扱った教材が、やや多い。 ・役割演技や異なる立場からの考えを取り上げた教材があり、物事を多面的・多角的に考え、議論できる。 ・絵本や写真・漫画・歌詞等の多種多様な教材が掲載されており、読むことの負担を軽減し、全員が話し合いに参加できる。 ・「いじめをなくそう」「つながりあって生きる」「いのちをかがやかせる」といった、テーマのまとまりとして学習できるように教材が配列されている部分がある。 ・問題解決的な議論しやすい教材が適度に取り上げられている。 ・役割演技以外の体験的な学習も取り上げられている。 ・巻末には、各学期を振り返ることができる「道徳科の学びを振り返ろう」のシートがある。 ・内容把握がしやすい短めの教材、絵本、漫画などを用いた理解しやすい教材を積極的に掲載している。 ・写真やイラストが多く、見やすい。 ・ふりがながあり、親切である。 ・タイトルページでは、内容項目の4つの分類のマークがついている。 ・兵庫県に関する内容の取扱いが少ない。 ・二次元コードでは、教材内容が簡潔に記されたものが掲載されてある。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
光 村	3 8	道徳 038-72 038-82 038-92	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき	・教材の順番は、テーマごとに分けたユニットの順番でできている。 ・いじめ問題に関する教材がやや多い。いじめといじりの差異について等、身近な例を通し、考えさせられる教材がやや多い。 ・互いの意見交換を促す教材が見られる。 ・チャレンジで「問いを立てよう」という手引きがあり、主体的・対話的な学習に取り組める工夫がされている。 ・問題解決的な学習を進めるてびきが3ステップでまとめられていて話し合いがしやすい。 ・「まなびをプラス」で前の時間に取り組んだ教材で学んだことや考えたことを、次の時間に生かして考えたり、違う角度から迫ったりすることでより深く考えることができるようになっている。 ・小学校の教材を中学校でも取り扱うことで、小中連携や自分の成長を感じるきっかけになっている。 ・人権についての教材が多く、難しいテーマには漫画や挿絵も用いられ、考えやすくなっている。 ・価値項目がマークとともにタイトル横に明示されており、個々の生徒の読みを限定してしまう可能性がある。 ・問題解決的な学習や体験的な学習において、言語活動が充実する教材が確保されている。 ・巻末の「まなびの記録」では、授業で考えたことを毎時間記録できる。 ・一年間の終わりには、記録を読み返して自分が学んだことや成長したことを振り返ることができる。 ・各ページに二次元コードがあり、朗読、関連資料、動画を見ることができる。 ・レイアウトに変化があり、飽きさせない工夫がある。 ・2年「命が生まれるそのときに」では、「必死な状態だからこそ『生きている』と感じさせられるものが出産にはある。」という記述と写真が合わない。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
日 文	1 1 6	道徳 116-73 116-74 116-83 116-84 116-93 116-94	中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート	・互いに多様性を認め、高め合うための教材が多く取り扱われている。 ・学びのキーワードが記載されていることによって見通しをもって主体的に学ぶことができる。 ・いじめの事例に関して、直接的に扱った教材と違う視点から間接的に考える教材とで構成されており、多面的・多角的に考えられる。 ・「明日へのメッセージ」では、登場する人物の言葉から、生き方について考えを深めることができる。 ・「視野を広げて」では、道徳と他教科や活動をつなぎ、生き方について視野を広げる内容が書かれている。 ・「学びを深めよう」では、道徳的な問題について考えたり、体験しながら学んだりするときの流れと、学びのヒントが示されている。 ・問題解決的な学習や体験的な学習に関する内容を多く取り上げている。特に、「学びを深めよう」のページでは問題解決的な学習や体験的な学習が進めやすい。 ・「学びを深めるヒント」は、生徒の考えを広げたり深めたりするために効果的である。 ・別冊の道徳ノートは1年を通して活用でき、生徒の思考の深まりや成長の様子がわかりやすい。 ・友達の意見や話し合いをメモすることができ、深く考えることができる。 ・道徳ノートを活用することで、授業が進めやすい。 ・本文に主題が明示された部分があり、多角的な議論になりづらい教材がある。 ・伝統や文化等に関する内容の取扱いが、やや少ない。 ・全ての教材に二次元コードが表示されており、興味・関心を持ち、自主学習ができる。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
学 研	2 2 4	道徳 224-72 224-82 224-92	新版 中学生の道徳 明日への扉 1 新版 中学生の道徳 明日への扉 2 新版 中学生の道徳 明日への扉 3	・「見つけよう・考えよう・話し合おう・生き方に繋げよう」の4つのステップで構成されており、流れがわかりやすく考えを深めることができるよう工夫されている。 ・教材のタイトルに問題意識が高まるキーワードが載っており、教材へ興味関心を持たせやすい。 ・漫画もあり、生徒の興味関心をひきやすい。 ・生徒が意見交換しやすい発問が掲載されている。 ・変化に富んだレイアウトだが、生徒によっては、読みにくく感じる場合がある。 ・メモ欄があり、自由に気づいたことを書き留められる工夫が見られる。 ・生命の尊さや人権を重んじ、多様性を受け入れられながら他者とともによりよく生きることを考えられる。 ・問題解決的な学習や体験的な学習に関する内容を多く取り上げている。 ・内容項目を直接示すことなく、生徒が考えやすいよう配慮されており、多面的な見方ができる工夫がある。 ・巻末の「学びの記録」で、日々の授業で気づいたことや学期ごとの学びを蓄積できる。 ・二次元コードを使って、学びを深めるために写真や動画を見ることができる。 ・文章だけのページがほとんどなく、やや写真等の資料が多い。 ・3学年とも、共通した漫画形式の教材が1つある。 ・熊本地震・東日本大震災については取り上げているが、阪神淡路大震災に関する内容がない。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
あか図	2 3 2	道徳 232-73 232-83 232-93	中学生の道徳 1 中学生の道徳 2 中学生の道徳 3	・一般書籍・記事などから選ばれた教材や著名な作家の文章も多く、生徒に様々な驚きや感動を与えられる工夫が見られる。 ・読み継がれてきた定番の読み物教材や漫画で読み解く教材があり、生徒の心に触れ、揺さぶることができる。 ・道徳的な授業展開を設定しやすい教材が多く採用されている。 ・兵庫県を題材とした教材が多い。 ・道徳的価値に迫るため、議論しやすい教材が多く掲載されている。 ・新型コロナウイルス感染症や生成 AI に関する内容が扱われているなど、新しい題材が用意されており、新旧の教材で構成されている。 ・役割演技や異なる立場からの考えを取り上げた教材があり、物事を多面的・多角的に考え、議論できる。 ・各学年 3 本ずつ「マイプラス」のページが設定され、教材を読んだり、活動したりするなど、問題解決的・体験的な学習を通して、様々な視点から考えを深める工夫がなされている。 ・教材によっては、二次元コードを掲載し、学習に関連した情報を見ることができ、動画も豊富である。 ・教材の最後には「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「考えを深める」という、テーマに合わせた問いかけにより、学びを進める手がかりがある。 ・「自分との対話」では、自分で振り返ったり、自分に置き換えて考えたりすることができる問いかけがある。 ・UD デジタル教科書体のフォントで読みやすくなっており、落ち着いたレイアウトである。 ・巻末に学期ごとの振り返りができるよう「学習の記録」がある。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
日 科	2 3 3	道徳 233-72 233-82 233-92	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方を見つめる 道徳 中学校 3 生き方を創造する	・教材の順番が学習指導要領の内容項目順に並んでいる。 ・巻末に「ウェルビーイングカード」がある。内容から自分が感じたことに近いカードを選び、隣や班の人と話し合うきっかけとして使えるため、自分の意見を伝えやすく、対話しやすい環境を作りやすくしている。 ・3年生の教材にウェルビーイングを考える教材がある。 ・各学年に漫画教材があり、考えるための課題を、生徒に分かりやすく示している。 ・「考えよう」「深めよう」の発問は、生徒の考えを促すきっかけになり、自分の考えを深める工夫がなされている。 ・先の展開が読めてしまい、生徒によっては考えが深まらない可能性もある。 ・議論になる教材設定があり、生徒に考えさせる構成である。 ・統一感のあるレイアウトであり、見やすさはあるものの、やや余白が広い。 ・防災に関する内容の取扱いが、やや少ない。 ・情報やSDGs、伝統・文化に関する内容が、やや少ない。 ・教材によっては、二次元コードがあり、関連した資料が見られる。 ・教材に出てきた有名な著名人に関しても、二次元コードがついている。 ・グループワークに適した題材が用意されている。 ・3年間を通して兵庫県を題材にした教材がある。